

記入例

実際の申請日を記入  
提出期限(3/16)厳守

様式第1号(第6条関係)

令和8年×月××日

舞鶴市長 様

住所又は所在地 〒×××-××××

舞鶴市字××××××××

申請者 氏名又は

名称及び代表者名 宗教法人・自治会・保存会名

「自治会長」「代表役員」等代  
表者役職名を必ず記入

自治会長 ×× ××

電話番号 ××××-××-××××

(担当者名) ×× ××

舞鶴市文化財保全事業補助金交付申請書

舞鶴市文化財保全事業補助金交付要綱第6条の規定により、下記  
交付を申請します。

申請内容について問い合  
わせさせていただく場合が  
ありますので昼間連絡のつ  
く電話番号とお名前を記入

記

1 交付申請額                    〇〇, 〇〇〇    円

(注) 補助金に係る消費税仕入控除税額を減額して申請する場合は、次の算式を明記  
すること。

補助金所要額－補助金に係る消費税仕入控除税額＝補助金額

2 添付書類

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) 見積書
- (4) 仕様書(有形文化財の保全事業に限る。)
- (5) その他市長が必要と認める書類

総事業費ではなく申請する  
補助金額を記入(補助対象  
経費の1/2(千円以下切り捨  
て))

様式第2号(第6条関係)

事業計画書

該当する区分に✓

1 事業の概要

事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 有形文化財の保全事業 <input type="checkbox"/> 無形文化財の保全事業 <input type="checkbox"/> 文化財の啓発等事業
対象文化財	名称 (建造物の修理の例) **神社本殿
	所在地(有形文化財に限る。) 舞鶴市字*****
	行事の名称、日時及び場所(無形文化財に限る。)
事業の概要	(建造物の修理の例) **神社本殿(江戸時代建立)の屋根が雪害により破損しているため、修理を行う。修理にあたっては、できる限り当初の工法・様・材料を使用するなど文化財に配慮した修理を実施する。
事業実施予定期間	令和8年 ×月 **日～ ×年 ×月 **日
事業を行う理由	例) 本殿の屋根が雪害により大きく破損したため、文化財の保全のために早急に修理を行う必要がある。**神社は地域で維持してきた貴重な文化財であり、今後も地域で確実に継承するため、適切な修理を実施するもの。

簡潔に概要を記入してください

申請日以降の日程で事業着手

2 事業スケジュール

時期	内 容
2月	事前調査、工事準備、着工 足場設置工、破損部材撤去工
3月	屋根修理工、瓦葺き替え、足場解体工、竣工
月	
月	

具体的な事業スケジュールを記入ください

様式第3号(第6条関係)

収支予算書

(1) 収入の部

科目	予算額	備考
自己負担	〇〇, 〇〇〇 円	
舞鶴市補助金	〇〇, 〇〇〇 円	予定
	円	
	円	
補助対象経費の1/2(千円以下切り捨て)	円	
	円	
	円	
	円	
合計	◇◇, ◇◇◇ 円	

(2) 支出の部

科目	予算額	備考
××神社本殿屋根修理工事	◇◇, ◇◇◇ 円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	収入の部合計と支出の部合計は一致(同額)
	円	
	円	
合計	◇◇, ◇◇◇ 円	

添付資料③

保全対象の写真

※修理や補修、備品新調の場合は破損状況や劣化状況等が分かる写真を添付

写真添付

写真添付

※用紙が足りない場合は適宜追加してください。

※パソコン等で画像を並べて編集した用紙でも結構です。

添付資料④

保全対象の由緒等

①保全対象の由緒等

※無形文化財(祭礼等)の場合、いつ頃から続く行事かなど、保全対象の由来(伝承も含む)を記入してください。建造物や美術工芸品の修理の場合は、建築年代・製作年代を示す資料の写真(棟札や箱書き、古文書等の写真)もあわせて別途添付してください。

有形文化財の例)

××神社本殿の棟札には「天保二年」の墨書(写真添付)があり、江戸時代の建立と考えられる。

無形文化財の例)

××神社祭礼は××自治会が例年実施しており、開始された年代は不明であるものの、本殿は江戸時代の建立であり、古くから祭礼が行われてきたと考えられる。現在使用している太鼓櫓に「昭和二年奉納」との墨書(写真添付)があることから、遅くともこの頃から現在の祭礼が継続されてきたことが分かる。

由緒の確認が難しい、資料が無い場合はご相談ください

※用紙が足りない場合は適宜追加してください。

※書籍等印刷物の資料がある場合はコピーを添付いただいても結構です。